

緑区の魅力を発信するラッピングバスの 運行を開始しました！

横浜市では、「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を中期計画の基本戦略として掲げています。

緑区では、地域への愛着や郷土愛を育むとともに、あらゆる世代がまちづくりに参加し、「**住みたい、住み続けたい、子育てしたい**」と思える緑区を目指すため、緑区の魅力（自然、農、歴史、街並み等）を描いた**黑板アート「かけだせ！緑区」**をラッピングした市営バスの運行を開始しました。

1 運行期間

令和5年1月15日（日）から2か月間

※車両運用の都合上、運行日時及びルートは日によって異なり、運行しない日もあります。

2 運行台数

市営バス若葉台営業所、緑営業所管内を運行する各1台

3 ラッピングデザイン



<若葉台営業所のデザイン>



<緑営業所のデザイン>



<黑板アート「かけだせ！緑区」(令和4年度アートによる緑区の魅力発信事業「山下学舎文化祭」で制作)>

お問合せ先

緑区区政推進課長

尾立 裕紀 Tel 045-930-2218

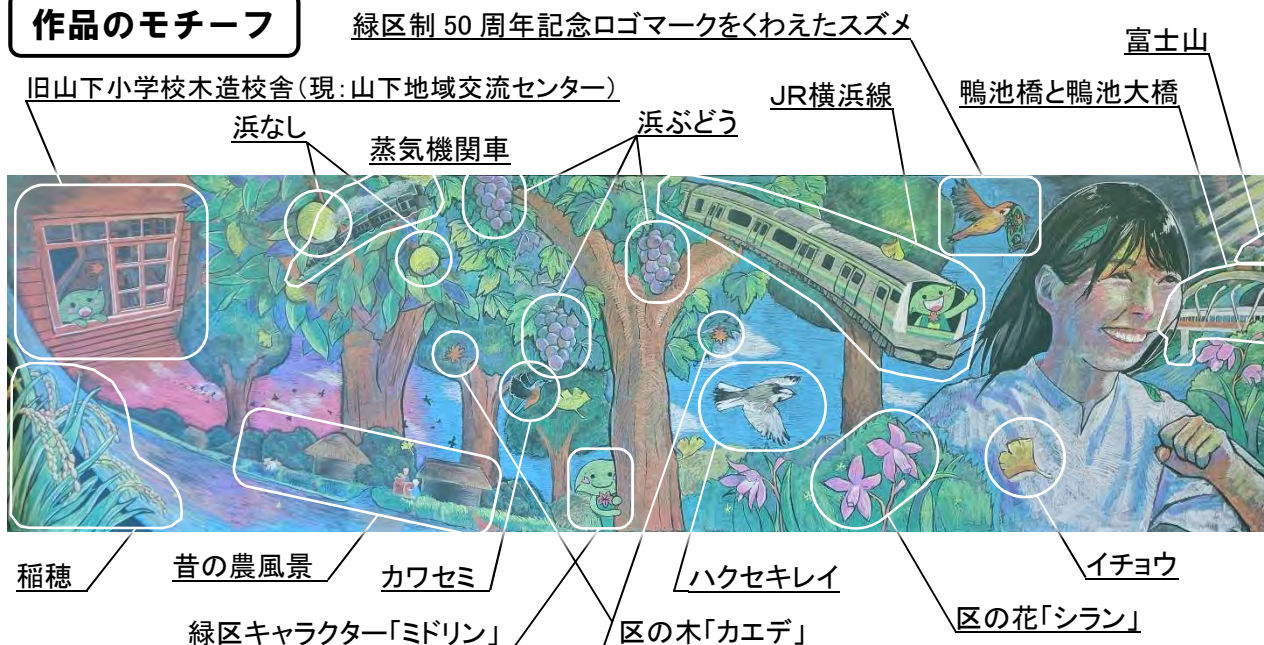
裏面あり

黒板アート「かけだせ！緑区」の見どころ

① 作品のテーマは「緑区の『むかし』『いま』『みらい』」

木造校舎に残る黒板をキャンバスにして、緑区の過去から未来までが1つの黒板に詰め込まれています。県内で唯一現存する戦中期の木造校舎にはじまり、近未来的なデザインの鴨池橋とその先に輝く未来に向かって、少女が駆け出す図案となっています。

作品のモチーフ



② 緑区で生まれ育ったからこそ描ける緑区の魅力！



作者：林 利緒奈さん（左）、橋場 こゆきさん（右）

緑区生まれ、緑区育ち、区内の神奈川県立白山高等学校美術科を卒業。高校2年生の時に黒板アートに出会い、以来制作を続けている。高校3年生の時に「TVチャンピオン極～黒板アート選手権（テレビ東京系列）」で優勝。2020年に緑区の魅力が詰まった黒板アート「緑区、みつけた！」を制作。2022年6月に新作となる黒板アート「かけだせ！緑区」を制作。

③ 黒板アートの制作過程をタイムラプス動画で紹介！

2020年に制作した黒板アート「緑区、みつけた！」を消すところから始まり、丸3日かかった黒板アートの制作の様子をタイムラプス動画で紹介しています。チョークだけで描かれる黒板アートならではの技法や制作過程を横浜市公式 YouTube チャンネルでご覧いただけます。

【URL】 <https://www.youtube.com/watch?v=wk4-4RjnPT0>



<動画はこちらから>

